

# 国内実態調査報告書

テーマ : 女川に学ぶ地域活性化  
ゼミ名 : 中村 亨ゼミ  
調査日 : 2020年11月20日(金)～11月22日(日)  
調査先 : 宮城県牡鹿郡女川町  
授業科目名 : ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ  
参加学生数 : 13人(1年生)

## 調査の趣旨(目的)

東日本大震災で甚大な被害を被りながらその後驚異的なスピードと規模で復興を成し遂げた宮城県女川町に出向き、前期の授業において資料や関係者へのZoomインタビューで学んだ復興の取り組みと工夫を実際に見て確かめる。また復興を担った現地の人の話を直接うかがい、交流することによって活字による知識を超えた知見を得る。

## 調査結果

震災をきっかけに生まれ変わった女川の町を実際に見て、駅舎と温泉施設が一体になったユニークな設計の女川駅や、テナント方式の店により個性的な商店が並ぶ駅前商店街シーパルピア女川など、地域活性化のための町の創意工夫を知ることができた。また週末に訪問者や買い物客でにぎわう街の様子を実際に目にして、町の賑わいと活気を作り出すのに成功していることが確認できた。さらに仕事や生きがいを失った、主に高齢の住民の働く場を提供するため震災を契機に創設されたNPO法人コミュニティスペースうみねこを訪問し、代表八木さんのお話をうかがうとともにそこでボランティア体験をし、働くことを通じた社会貢献について直接的な人的交流や実践を通し学んだ。



JR 女川駅前



コミュニティスペースうみねこ代表八木さんの説明



女川駅舎視察